

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4070901832		
法人名	株式会社 ケアリング		
事業所名	グループホーム 東光寺		
所在地	〒812-0897 福岡県福岡市博多区半道橋1丁目18番35号 Tel 092-473-5929		
自己評価作成日	令和元年11月08日	評価結果確定日	令和2年01月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号	Tel 093-582-0294	
訪問調査日	令和02年01月10日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

入居者様に安心・安全でその人らしく生活して頂ける様、個々を大切にし尊重する。  
 美味しい食事の提供・敷地内の畑にて野菜を育て、収穫の喜びを感じながら新鮮な物を頂く。  
 個々に合った食事形態を考え提供する。  
 個々の出来る事を見極め役割りの持った生活をして頂く。  
 毎朝のラジオ体操・唱和・外出にて楽しみながら下肢筋力低下を予防する。  
 状態によっては訪問マッサージも利用している。  
 スタッフに看護師がおり訪問看護とも24時間体制をとっている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

「東光寺」は、博多区の利便性の良い恵まれた環境に15年前に開設した、デイサービス併設の1ユニット定員9名のグループホームである。毎朝のラジオ体操後、利用者と一緒に「東光寺の理念」を唱和し、嬉しい時は喜び合い、困っている時は助け合う大きな家族として、利用者と職員が支え合い暮らしている。畑で収穫した野菜や旬の食材、耶馬溪から取り寄せる米を使って美味しい食事を提供し、ホームドクターの月2回の往診と緊急時の対応、看護師である管理者、訪問看護師、介護職員との連携で24時間安心の医療体制が整っている。管理者を中心に家族とのコミュニケーションに努め、敬老会を兼ねた家族会に多くの参加があり、町内会会長、民生委員の協力を得ながら、認知症高齢者が自分らしく安心して暮らすことのできる憩いの場を目指し、ホーム、家族、地域が協力して取り組んでいるグループホーム「東光寺」である。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、日常的に戸外へ出かけている (参考項目:51)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自 己	外 部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日、入居者様と一緒に理念を唱和し入居者様との関係を深めながら実践に取り組んでいます。	平成28年5月に職員間で話し合って作成した理念を、見やすい場所に掲示している。前回の外部評価受審後から、毎日、ラジオ体操の後に利用者と職員と一緒に唱和する取り組みを始め、理念の共有に努めている。利用者と職員は大きな一つの家族として自分らしく安心して暮らせる憩いの場を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事に参加したり中学生の職場体験を毎年、受け入れ外部との交流を行っている。	町内会会長が協力的である。地域の情報を受けて参加を心掛け、地域の方との交流に努めている。また、デイサービスの行事に参加したり、散歩時には挨拶を交わす等、外部との接点を持つようになっている。中学生の職場体験を継続して受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等を通して認知症の情報を提供し発信源となるようにしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催し施設の現状報告や地域のご意見を伺いサービスの向上に努めています。	町内会会長、民生委員2名、地域包括支援センター職員の参加を得て、2ヶ月毎に開催している。入居者状況や活動、身体拘束についての報告を行っている。外部のボランティアや学生ボランティアの受け入れを提案されるなど、ホームの運営、サービスの向上に向けた活発な意見が出されている。	老人会会長や公民館館長、出入りの薬剤師や歯科衛生士、近隣のグループホーム管理者等、参加委員の増員を図り、ミニ勉強会やレクの体験、試食会等、会議の充実に向けた取り組みを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	解らない事や不明な事があると連絡しアドバイスや情報提供を受けています。	管理者は、行政担当窓口を利用状況や事故等の報告を行い、疑問点があれば電話やメールでのやり取りを重ね、連携を図っている。また、運営推進会議に、地域包括支援センター職員の参加があり、アドバイスや情報提供を受け、利用者の問い合わせ等もあり、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1回は定例会等で研修を行ったり確認をしている。	外部研修で年2回、身体拘束について学ぶ機会があり、受講した職員がホーム内の定例会で報告を行い、周知を図っている。身体拘束について学ぶ中で、禁止行為の具体的な事例を挙げて確認し、言葉や薬の抑制も含めた身体拘束について理解している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修等に参加したり内部の研修も行いスタッフ全員が同じ認識のもと理解し共有出来るようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を受ける機会を設けたり資料を誰でも閲覧できるようにしている。	現在、3名の方が成年後見制度を利用している。後見人とのやり取りを通じて制度についての理解を深めている。権利擁護の制度に関する資料やパンフレットを用意し、職員がいつでも閲覧できるように整備している。必要時には、制度の内容についての説明を行い、申請機関へ橋渡し出来る体制を整えている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、御家族に対して契約書・重要事項説明書を基に説明し疑問点等がないか確認しながら進めています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族の来所時には話しを出来る時間を設け、なかなか来所出来ない御家族に対しては電話等でお話しイベントも御家族にお声掛けし、そこで得られたご意見・ご希望等をプランに反映させたりしています。	職員は、利用者の意見や要望を日々の暮らしの中で把握し、出来るだけ反映させている。また、家族とは、面会時や敬老会を兼ねた家族会、ホームの行事参加の機会にコミュニケーションをとる中で、意見や要望を聴き取り、出来ることからホーム運営に反映させている。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議や毎日の申し送り時又は個別に話しをする機会を作りそこの問題点や要望は前向きに進めるようにしている。	月1回、全員参加の定例会を19時から開催し、利用者のケアについての意見やホーム運営、業務改善についての提案等、活発に意見交換が行われている。出された意見は、「まずはやってみよう」の精神で実践している。また、毎日の申し送り時に問題点や気づきについて話し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人員の少ない中、職員の休日確保、残業をなくすよう業務改善、シフト調整を行い無理のない環境作りを行っている。又、研修にも参加させ技術の向上・認知症についても学べる機会を作っています。		
13	9	○人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についてもその能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に当たっては何の区別も無く未経験のスタッフも採用しており働きながら資格習得もされている。それに対して他のスタッフも協力体制にある。	管理者は、特技や能力生かした職員の配置や、職員一人ひとりの事情を汲んだ勤務時間の配慮等、職員が協力し合って働くことのできる職場環境作りに取り組んでいる。外部研修受講や資格取得を奨励し、職員が向上心を持って働ける職場環境を整えている。	
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者様に対して人生の先輩として敬う気持ちを常に持ち個人の気持ちを尊重し対応しています。	利用者の尊厳を守る介護について、定例会議や研修会の中で職員間で話し合い、利用者の個性や生活習慣を大切に、一人ひとりに合わせた言葉遣いや対応を心掛け、利用者が自分らしく安心して暮らせるよう支援している。また、職員はホームの理念を常に意識し、理念に基づいたケアの実践に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験が浅く資格を持たない職員がいる中、管理者を中心に皆で話をする機会を持ったり認知症の理解を深めるよう積極的に研修に参加できる環境作りに努めています。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に所属し交流の場として活用している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様、御家族様との会話の中から困っている事、不安に感じている事等を聞き取り管理者と担当者を中心に信頼関係を築き安心した生活が送れるよう努めています。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	計画作成担当者と居室担当を中心にサービスを提案し御家族の要望を基に入居者様が安心して生活出来る様最善のケアを提供できるよう努めています。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	変化があった場合は直ぐに御家族に報告し継続的に御本人・御家族に話を伺いながら、その時に必要とする最善のサービス提供できるよう努めています。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を主体とし出来る事、出来ない事を見極め、出来る事はして頂き、出来ない部分に関してはお手伝いし一緒に時間を過ごすように努めている。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族になれない事を自覚し御本人と御家族の関係を一番に考え希望に添えるよう支援していく。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所の話を折りに触れ聞いたり、御家族と外出して頂いたり来所して頂けるよう働きかけています。	面会し易い雰囲気を中心に、利用者の家族、親戚、友人、知人の面会が多い。また、家族の協力の下、自宅への一時帰宅や馴染みの店での外食等、利用者の馴染みの関係がホーム入居で、途切れないように支援している。また、1階のデイサービス利用後、入居している利用者が多く、デイサービスとの交流も大切にしている。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが常に観察しながら1人ひとりの生活を守り、その中で交流の場を設けたり環境を整えたりしています。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでもフォローが出来るよう時節のお便りを送ったり機会があれば電話を掛けたりしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の気持ちを第一に日頃よりコミュニケーションをとり安心・安楽の生活に努めている。表現が困難な方は表情で読み取り御家族とも相談しながら配慮しています。	職員は、日常の関わりの中で利用者の思いや意向の把握に努め、定例会で情報を共有し、統一した介護サービスに取り組んでいる。意向表出が困難な利用者については、生活歴を振り返ったり、家族に相談しながら関わる中で、利用者の表情等から思いを汲み取っている。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日頃の入居者様との会話を大事にし又、来所時、御家族に聞くなど個々を知る事によりサービスの向上に努めている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、申し送りにより心身の状態を把握しスタッフ全員が同じ認識で把握出来るように努めています。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が中心となり利用者や御家族に要望を聞きとりケアの在り方について定例会時に評価を行い計画作成者が現状に即した介護計画を定期的に作成している。又、利用者の状態によっては、主治医に相談し見直しを行っている。	家族の面会に合わせて担当者会議を行い、意見や要望を聴き取り、定例会の中で情報を収集し、計画作成担当者が意見等をまとめて、6ヶ月毎に介護計画を作成している。担当職員がモニタリングを行い、利用者の状態に変化があれば、その都度関係者と話し合い、介護計画を見直している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24時間シートを利用し職員間で情報を共有するように努めています。それにより変化、気づきを支援内容や介護計画の見直しに活かしています。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診や外出等、その時の状況により職員が同伴し対応しています。入院された時などは関係が途絶えないよう面会に行くようにしています。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や散歩時に情報を提供しご近所の方に徘徊時、声掛け・施設への連絡等して頂くようお願いしています。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所では24時間対応の医療連携をとっています。月2回の定期往診もあり又、他の病院受診される場合は御家族と相談の上、訪問ドクターを通じてスムーズに受診出来るよう支援しています。	入居時に利用者や家族の希望を聞いている。現在は、全員がホーム協力医が主治医であり、月2回の定期往診と緊急時の対応、看護師である管理者と訪問看護師、介護職員との連携で、24時間安心の医療体制が整っている。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は看護師である管理者に変化や気になる事は相談し看護師は必要に応じてドクターに連絡・相談し指示を仰ぐようにしている。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は定期的に病院訪問し病院関係者と情報交換を行い、それを訪問ドクターとも相談しながら出来るだけ早い退院となるように体制を整えています。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に説明し了承を得ています。利用者が重度化した場合、御家族・主治医・訪問看護師・スタッフ等が話し合い相談しながら安心して終末期が送れるように支援していきます。	重度化や終末期に向けた方針については、契約時に説明し、了承を得ている。利用者の重度化に伴い、家族や訪問看護師、主治医と話し合い、細かな取り決めを行いながら今後の方針を確認し、利用者や家族が安心して終末期を送れるような支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを整備し解らない事は管理者や訪問看護師に聞きながら行えるようにしています。		
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	最低年2回以上はデイサービスとの合同も含み訓練を実施しています。	年2回、1階のデイサービスと合同の避難訓練を実施し、内1回は消防署の協力を得ている。夜間想定訓練では、2階の9名の利用者を安全に一時避難場所(ベランダ)に誘導する事を確認している。また、非常災害に備えて、非常食や飲料水、非常用持ち出し袋を用意している。	2階に位置することから、現在行っている合同の訓練とは別に、事業所独自の夜間想定訓練を繰り返し行い、夜間の避難誘導について周知徹底を図ることを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定例会や申し送り時に言葉使い・対応で気になる点は注意し合い利用者の尊厳やプライバシーに配慮するように努めています。	利用者一人ひとりのプライバシーを守る介護について、定例会や申し送り時に話し合っている。特に、言葉遣いや対応に気をつけ、気になる点は注意し合い、利用者の誇りやプライバシーに配慮した介護サービスに取り組んでいる。また、個人情報の取り扱いや職員の守秘義務については周知徹底が図られている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段からコミュニケーションを大切に信頼関係を築き出来るだけ自発的な意見が出せるよう努めています。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務の決まり事はあまり作らず、その時々により変更する等、柔軟に対応するよう努めています。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理髪訪問に来て頂いたり着替えの時等は御本人と洋服選びをしたり外出時は化粧品も進めたりしています。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の嗜好や季節の物を取り入れるよう努めています。又、月一度は行事食を取り入れたり、週1回日曜日の昼食には皆様でおにぎりを作って頂いたりしています。	朝食と夕食については、職員が手作りで提供し、昼食は1階の厨房からの配食である。敷地内の畑で採れた野菜や旬の食材、こだわりの米を使って美味しい料理を提供し、職員は利用者と一緒にテーブルについて、同じ料理と一緒に食べる楽しい雰囲気のある食事の時間である。おかずのつぎ分けや味見、食器洗い、食器拭き等、力に応じて手伝いをお願いしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全入居者様の食事・水分量を把握しドクターと相談しながら食事形態・内容に対応しています。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、週1回歯科訪問にも来て頂き個々に合ったケアを指導して頂き実践しています。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表により個々の排泄パターンを把握し尿失禁が無い様声掛け、誘導等支援しています。又、パットの種類も個々に合う様使い分けてます。	重度化してもトイレでの排泄を基本とし、職員は、利用者のこれまでの習慣や排泄パターンを把握したうえで声掛けを行い、失敗の少ないトイレでの排泄の支援に取り組んでいる。また、月1回は業者に相談する機会を設け、利用者一人ひとりに合ったパットやオムツの種類や使い方の検討、改善を行っている。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜、ヨーグルト、牛乳等1日の献立作成に気を付けています。又、薬の調整を行ったり運動、腹包温等を行い自然排便を促すようにしています。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者の希望や体調に配慮しながら拒否がある場合は延期したり入浴の日でなくても希望があったり衛生面から毎日入る事もあります。又、入浴剤を使用したり5月には菖蒲湯にしたり入浴を楽しんで頂ける様、工夫しています。	入浴は、利用者の希望や体調に配慮しながら、週2、3回は入浴している。また、気持ちよく入浴出来るよう、香りの良い入浴剤を使用する等、工夫している。浴槽に浸る利用者の横に座りお湯をかけながら話をする等、コミュニケーションに努め、楽しい入浴となるよう支援している。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や体調に考慮しながら夜間の睡眠に支障がないよう配慮し生活して頂けるよう支援しています。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬リストを作成し既往歴・用法・用量が解るようにしています。服薬前には3重チェックを徹底し薬変更があった場合は薬ノートに記録し送りで全体に周知出来るように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の残存能力を見極めながら生活できるように声掛け、寄り添いながら支援しています。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	御家族に声掛けしたり近くであればスタッフが同行するなどして支援しています。	苺狩りと、季節の花見は、毎年の恒例行事として取り組んでいる。また、日常的に近隣をぐるっと回って散歩をしたり、敷地内の畑を眺めに行ったり、できるだけ外気に触れる機会が持てるよう心掛けている。家族の協力で、外出や外食を楽しむことも出来ている。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物に行く時などは御本人に渡し見守りしながら会計もして頂きます。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの電話はもちろん御本人にもいつでも電話が出来る事をお話し支援しています。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設の清掃は毎日行うのはもちろん季節が感じられるように花を飾ったり飾りをほどこしたりしています。又、動線には物を置かない様スタッフ1人ひとりが注意し転倒防止にも努めています。	敷地内の菜園では、大根やジャガイモ、胡瓜等、季節の野菜が育っている。天然木にこだわって作られた室内は落ち着いた雰囲気、暖色系の照明と静かな音楽が流れる居心地の良い共用空間である。また、整理整頓や清掃、換気を小まめに行い、気持ちよく過ごせるように取り組んでいる。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで座る位置はそれぞれの相性を考慮し状況に合わせて配慮しています。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際は出来るだけ御本人の使い慣れた家具や思い出の品等を置いて頂く様お願いし環境変化による混乱を最小限に抑えるよう配慮しています。	利用者の使用していた箆笥や机、椅子、ソファ、仏壇等を持ち込んで貰い、人形やぬいぐるみ、家族の写真等を飾る等、利用者が安心して過ごせるよう、家族と話しながら取り組んでいる。また、居室の入口にはそれぞれ柄の違う暖簾を下げて、自分の部屋として愛着が持てるよう工夫している。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内にはすべてに手摺りを設置しており、それを持ちながら歩行して頂いたりリハビリも行ったりしています。		